

【和歌山】看護師育成の独自プログラム「紀和メソッド」で人材確保を目指す-梅村定司・紀和病院副院長らに聞く◆Vol.2

入職後1年間は7部署をローテーション研修、やりがいを感じる部署を見つける

2025年5月26日（月）配信 m3.com地域版

急性期から回復期まで6種類の病棟を持つケアミックス型の紀和病院（和歌山県橋本市）が2025年4月、新人看護師臨床研修センターを開設した。同センターでは新人看護師の養成と人材定着のため、医師のローテーション制度に着想を得て考案した「紀和メソッド」に沿った研修を行う。同センターのコンセプトや教育システムの内容、今後の展望などについて副院長の梅村定司氏と同センター長の上野恵氏に話を聞いた。（2025年3月28日インタビュー、計2回連載の2回目）

▼第1回はこちら

コンセプトは「なりたい看護師になる」

——新人看護師臨床研修センターの仕組みについて教えてください。

梅村 入職後1年は各部署に配属せず、看護部長直轄の新人看護師臨床研修センター（以下、CTC）で全員を一括管理し、同じ教育を受けてもらいます。具体的には、急性期や慢性期病棟、救急外来、手術室など7部署をローテーション研修し、プログラムに沿った教育を受けながら、やりがいがあると感じる部署を探してもらいます。ローテーションの中で、自身が目指す看護像と現実との乖離を減らせれば将来の離職も防げるのではと考えました。

また、ローテーションの各部署では認定看護師と専門看護師に新人看護師のアドバイザーとして参加してもらい、「憧れの先輩」に直接相談できる環境を整えるなど、メンタル面の支援に注力し、こまやかに育成していきます。当院が急性期から訪問看護まで幅広い医療を提供し、幅広い業務があるため、そのメリットを生かした育成プログラムもあります。



梅村定司氏

——CTCのコンセプトを教えてください。

梅村 「なりたい看護師になる」をテーマに掲げています。一人一人が抱く理想の看護師像を実現できるよう支援し、将来的に希望をかなえてもらえるプログラムにしたいです。

上野 CTCは看護師一人一人が確かな技術と知識を持ち、患者さんやチームメンバーから信頼される看護師に成長することを目指す教育システムです。新卒1年目だけの特別な時間を過ごしてもらい、将来進むべき方向性を見極めや自分の適性や希望をじっくり考える時間になるようにしていきます。



上野恵氏

——これまで看護師はどのような育成方法を行っていたのですか。

上野 十数年前から「みんなで支える」をコンセプトに、チーム支援型を導入し、部署全体で新人を育成してきました。しかし責任の所在が分散したり、新入職者が離ればなれになって悩みや思いを話し合う機会がないなどデメリットがありました。CTCでは、新人看護師が朝と夕にセンターに集まるため話がしやすく、また、1年間でみんなが同じ業務を経験するため悩みの共有、相談ができるのも一つの大きなメリットで、癒やしや学びにつながるのではと期待しています。



紀和病院

現場で指導する看護師を評価する制度も

——この仕組みは現場で指導する看護師に受け入れてもらえそうですか。

梅村 新人教育では実際にそれぞれの現場で教育する看護師が最も重要な役目を果たしますから、現場の看護師へのフォローも忘れてはいけないと思っています。現場で指導する看護師のモチベーションアップにつなげるために、各現場の指導を評価する制度も設けました。新人看護師が評価されるのはもちろんのこと、教える側の現場看護師も新人看護師から指導内容や指導方法を評価される相互評価制度を採用し、そうすることでしっかり新人を教育すれば自

分自身にも評価として返ってその後の人事考課に反映される仕組みです。つまり指導者側にもWINがあり、「皆で育てる」環境が整うよう工夫しています。

——新人看護師は、1年で「なりたい看護師」をイメージできるものでしょうか。

上野 日々の研修に追われて時間を過ごすのではなく、朝夕のセンターでの時間でしっかり振り返りをし、指導者はフォローし、新人たちには自分の適性や今後の方向性を考える時間を持たせなければいけないと思います。毎回振り返りをして考え方の修正をしてあげたり、指導者から見て取れるその人の特性を助言したりしながら、最初の配属先の決定へ向けて進めていきたいと思っています。

——皆を希望する部署へ配属できるものですか。

上野 必ずしも配属すると約束はできませんが、これまでに比べて配属決定まで時間があります。さまざまな調整をして、適性のある部署へ配属したいです。

梅村 民間病院であるため、配属決定はフレキシブルに対応できます。病院側は全面協力し、看護師という職業に憧れて理想を持って当院に入職してくれた看護師の今後の人生を支える気持ちで向き合っていきたいと思っています。

「紀和メソッド」を広め、人材確保につなげたい

——今後の展望を教えてください。

梅村 医師のローテーション制度をヒントにし、地元の看護学校も協力してくれる中で構築した新人看護師養成システムは全国でも珍しいと思います。私たちが「紀和メソッド」と名付けたこの取り組みが順調に稼働し、病院の財産となる看護師が育つことを切に願っています。

また、さまざまな業務があることや教育システムが整っていることが広く伝わり、人材が集まる病院になるよう進めていきたいです。今は大学を卒業した看護師の採用はほとんどできていないのですが、このような仕組みがあると知って興味を持ってくれる人が増えれば、大卒の看護師の採用にもつながり、結果として人材の幅が広がるかもしれないと期待を寄せています。そして今後の展望として、このCTCから患者さんはもちろん、病院で働くスタッフなどすべての人から信頼される看護師：Reliable Nurse（リライアブル・ナース）を確立することにも尽力したいと思っています。

上野 当院の新人は高校か専門学校を卒業して入職する人が多いのですが、年齢層が幅広いので、社会人としての力量にも差があります。組織で何かをすることが初めての人もいます。CTCで毎日報告や相談をしたりお互いをフォローし合ったりすることを学んでもらえれば、チーム医療の一翼を担う看護師として、より良い人材に育っていくと思います。期待を込めて、指導していきます。

◆梅村 定司（うめむら・ていじ）氏

1991年和歌山県立医科大学卒業。同大病院紀北分院外科学助手や助教、講師を経て、2009年より紀和病院プレストセンター長。2024年から同院副院長。日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、日本外科学会専門医、日本抗加齢医学専門医、麻酔科標榜医。

◆上野 恵（うえの・めぐみ）氏

1991年奈良文化女子短期大学卒業、2015年NST専門療法士を取得しチーム活動に携わる。2019年認定看護管理者課程セカンドレベル修了、2023年4月副看護部長、2024年3月放送大学を卒業し、同年4月より看護部長。2025年4月から副院長、新人看護師臨床研修センター長。

記事検索

ニュース・医療維新を検索

